

第14回競基弘賞授賞者決定と授賞式開催のご案内

特定非営利活動法人 国際レスキューシステム研究機構（神戸市長田区二葉町7-1-18 会長：田所諭）はレスキュー工学を担う若手研究者・技術者を奨励する「第14回競基弘（きそい もとひろ）賞」の授賞式を2019年1月11日に執り行ないます。

競基弘賞は防災・レスキューシステムの研究開発において、学術的あるいは技術的に顕著な業績をあげた概ね40歳未満の研究者や技術者を表彰し、将来レスキュー工学を担う若手の研究者を奨励する賞です。

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災では、6000名以上の尊い命が奪われました。震災の教訓を生かすためにも、震災を風化させないことが重要です。当機構副会長の松野文俊（京都大学教授）は当時神戸大学工学部に在職しており、指導していた神戸大学大学院博士前期課程の1年生であった競基弘氏を亡くしました。倒壊したアパートの下敷きになり23歳の若さで亡くなった彼は将来、「ドラえもんのような人を癒し助けてくれるロボットを作りたい」という夢を語っていました。

夢半ばで瓦礫の中で亡くなっていった彼の遺志を継ぎ、その夢の一部でも実現し、6000人以上の亡くなられた方々を忘れないための記念として10年を経た2005年に「競基弘賞」を創設しました。また、2009年度からは「レスキューロボットコンテスト」「計測自動制御学会SI部門講演会」で講演を行った学生を対象にした「奨励賞」、さらに2010年度からはロボカップジュニアレスキューチャレンジ参加者を対象に「奨励賞」を設け、2014年度からは、5年に1度、医学部門業績賞、心理学部門業績賞の表彰を行うこととなりました。また、2016年度からは、世界的な学会IEEE（The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.）の 国際会議 IROS（International Conference on Intelligent Robots and Systems）において「IEEE IROS Best Paper Award on Safety, Security, and Rescue Robotics in memory of Motohiro Kisoï」の創設が認められ表彰を開始いたしました。

競基弘賞は2005年4月より募金を開始し、多くの方々から深いご理解と多大なるご厚情を頂戴しております。

第14回競基弘賞は、2018年8月より公募を開始し、その中から競基弘賞選考委員会にて受賞者を決定いたしました。

すでに確定した受賞者に関する経歴は次ページ以降をご高覧下さいませようお願い申し上げます。

同日に授賞式と受賞者による講演を執り行いますので、ご多忙中とは存じますが、ぜひともご来場いただけますようお願い申し上げます。

問合せ先： 特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構

URL: <http://www.rescuesystem.org>

Email: morita@rescuesystem.org (森田)

TEL: 078-641-2840 / F A X: 078-641-2841

第十四回競基弘賞授賞式

競基弘賞選考委員会にて慎重な議をいたしました結果、下記の受賞者を決定いたしました事、ご報告申し上げます。

第十四回競基弘賞

- ・ 学術業績賞 藤井 浩光(千葉工業大学 先進工学部 未来ロボティクス学科)
- ・ 特別賞社会貢献賞 レスキューロボットコンテスト実行委員会
- ・ IEEE IROS Best paper award SSRR in Memory of Motohiro Kiso Carrick Dotweiler (USA)
- ・ 奨励賞受賞者について、下記の通りご報告申し上げます
 - ロボカップジュニアIRS賞 『おいらぁ』 (中島悠翔、榎本匠)
 - レスキューロボットコンテスト奨励賞 『lthascreat』 (群馬県立伊勢崎工業高校 電子機械研究部)
 - レスキュー工学奨励賞 「浮上型索状ロボットのためのワイヤを用いた受動的制振機構の開発」 山口 智香 (東北大学)

競基弘賞選考委員会委員長 松野文俊

第十四回競基弘賞授賞式及び記念講演

- 会期 2019年1月11日 (金) 13:00～
 - 会場 ふたば学舎 1階 多目的室1-1 (神戸市長田区二葉町7丁目1番18号)
<http://futabasyo.jp/>
 - 主催 特定非営利活動法人 国際レスキューシステム研究機構
 - 後援 兵庫県、神戸市
 - プログラム
- 13:00- 開式の挨拶 国際レスキューシステム研究機構 会長 田所 諭
13:10- 来賓の挨拶 神戸大学名誉教授 高森 年
13:15- 選考過程説明・受賞者発表 競基弘賞委員会委員長 国際レスキューシステム研究機構 松野 文俊
13:30- 授与式 (学術業績賞、特別賞社会貢献賞、IEEE、奨励賞)
14:00- 奨励賞受賞者の研究内容発表
14:30- 受賞者の講演「特別賞社会貢献賞」
「学術業績賞」
16:00- 閉会の挨拶 競基弘賞委員会委員長 松野文俊
- *懇親パーティー*** 16:30 - ポンシェル (アスタくにつか5番館B1F) ※会費制 ¥3,500-



阪神淡路大震災で亡くなられた競基弘さん
1994年3月撮影

学術業績賞 藤井 浩光 (千葉工業大学 先進工学部 未来ロボティクス学科)

受賞テーマ (講演題目) :

「インフラ自動点検のためのロボット診断システムの研究開発」

受賞者は、社会インフラの点検をロボットにより自動化する研究に取り組み、主に1) 打音など音響信号を主とするマルチモーダル情報を用いた構造物の自動診断システムの構築、2) ロボット遠隔操作のための映像提示法の構築を行った。1) では、集団学習を用いた診断器の生成アルゴリズムを独自に構築し、診断器の自動校正、構造物の劣化状態の推定、ひび割れの侵入方向の推定などの課題を解決した。2) では、インフラ点検に必要な映像技術の開発に体系的に取り組んできており、例えば過酷な点検現場における遠隔操作ロボットを用いた作業支援のために、映像中の遮蔽された領域を透視可能な半隠消映像提示システムなどの実用的な技術を提案してきた。受賞者の業績は、点検ロボット以外にも災害対応などにおけるロボットの遠隔作業や無人建機による無人化施工にも適用可能であり、それらの分野においても数多くの技術・研究が発表されている。



藤井 浩光 氏 略歴

- 1982年 生まれ
- 2005年 東京大学工学部システム創成学科 卒業
- 2007年 東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻 修士課程修了
- 2007年 ソニー株式会社 正規職員
- 2014年 日本学術振興会 特別研究員 (DC2)
- 2016年 東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻 博士課程修了
- 2016年 東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻 特任助教
- 2017年 東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻 特任講師
- 2018年 千葉工業大学先進工学部未来ロボティクス学科 准教授

特別賞 社会貢献賞 レスキューロボットコンテスト実行委員会

受賞テーマ：

「レスキューロボットコンテスト」

レスキューロボットコンテスト（以下レスコン）は、阪神・淡路大震災を契機として始まったレスキューを題材とするロボットコンテストです。競技課題は遠隔操作ロボットにより大地震で被災した市街地を模した1/6スケールの実験フィールド内から要救助者に見立てたダミー人形（センサー内蔵）を救助することです。

レスコンは「教育」「社会性」「科学技術」の三軸要素を全て兼ね備え、各要素が「やさしさ」というコアコンセプトで結ばれています。ロボット製作を通じて、創造的思考力や高い技術力を有する質の高い技術者の育成により、ロボット分野だけでなく様々な分野で活躍できる人材育成を目指しています。

一方、コンテストの開催を通して、参加チームだけでなく、コンテスト来場者に対しても防災・減災について広く啓発し、様々な形で防災・減災のために人の役に立ちたいという子ども達を応援するとともに次世代に活躍できるような場を提供しています。

レスキューロボットコンテスト実行委員会は「技術を学び 人と語り 災害に強い世の中をつくる」という理念の下に「レスキューのやさしさの深化とロボット技術の向上をめざして」活動を続けています。



取材申込み



事前登録制とさせて頂いております。

ご質問等ございましたらご遠慮なくお問い合わせ下さい。お申込は**1月10日（木）17時**まで受付いたします。

問合せ先：国際レスキューシステム研究機構 TEL：078-641-2840（森田）

■取材申込み

第14回競基弘賞授賞式 1月11日（金）13:00～

<取材申込先：FAX：078-641-2841 morita@rescuesystem.org>

所属先	お名前
ご連絡先；TEL & FAX	E m a i l

問合せ先： 特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構

URL: <http://www.rescuesystem.org>

Email: morita@rescuesystem.org (森田)

TEL: 078-641-2840 / FAX: 078-641-2841